

# グローバル通信

長崎県立口加高等学校グローバルコース 第8号 平成30年8月6日

## 1期生 オーストラリア語学研修 前編(学校交流)

7月23日(月) 諫早IC集合 → 福岡空港 → 香港空港 → シドニー到着



「 行ってきます♪ 」



「 シドニー到着! 」

7月24日(火) Whyndom College(研修先)にてホストと顔合わせ → ホームステイ



「 初めまして 」



「 バディと食事 」



「 意外と通じてる!?! 」

生徒感想

7月23日(月)

空港へ来たのも、飛行機に乗るのもすべて初めてで、検査官の厳しい雰囲気や、乗り継ぎの時には持ち物検査でシーブリーズが基準の液体量を超えていて没収され、何を言われているのかもわからないまま、捨てられて、とても怖かった。しかし、夜景や朝日がとてもきれいで感動した。

7月24日(火)

学校に到着したとたん英語のみで、すごく不安だった。校内を案内してもらった時も説明に相槌を打っただけで、こちらからは質問をほとんどできなかった。ホストの家についてからは何も喋れない時間があつた。話したいことはあっても、どう英語にするかわからなかった。正直家に帰りたいと思った。しかし、夜にホストファミリーで食事に行つてからバディやホストマザーと少しずつ話ができるようになり、とても楽しいと思うことができた。私が分からないと言ったら、言い方を変えてくれるので、理解できる回数も多くなつてきた。

## 7月25日(水) Whyndom College 授業参加(ペア学習)、図書館にて調べ学習



### 生徒感想

7月25日(月)

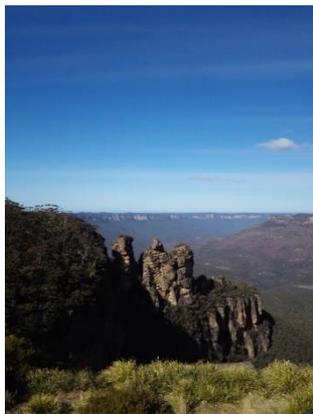
・口加高校の校舎より、はるかに広がった。校舎には蛇が出るらしく、みんなが怖がっていた。男子生徒は元気な人が多く、日本より人と人との距離がビツクリするほど近かった。これは、外国と日本との大きな違いだなあと感じた。

・オージーの言葉は、普段習っている英語の発音やアクセントと違いがあるので、慣れるのに時間がかかりそうである。

・今日まで一度も電子辞書を使っていない。聞かれたことに対して、OKとかYesぐらいの簡単な返答は、なんだか物足らないと感じる。

・食前の手伝いはできたが、食後の手伝い方がわからずに、できなかった。できる限りいろんなことにチャレンジしてみる。

## 7月25日(水) Whyndom College フィールドワーク(Blue Mountain)



## 7月26日(木) Whyndom College (授業参加) → BBQ



### 生徒感想

7月26日(木)

英語での会話に疲れてきたせいか、バディとの会話が減った気がする。しかし、貴重な機会なので、自分から積極的に話題を振ったり、アイコンタクトを取るなどの努力をこの期間は続け、バディとの会話を大切にしていこう。

ブルーマウンテンはとてもきれいな場所だった。スリーシスターズの歴史を教えてもらったり、日本の文化を伝えたりと、楽しい時間を過ごすことができた。

7月27日(金)

本日で学校交流が最後。今日はアボリジニのアートを学んだ。製作中はバディと話すことができなかつたけれど、お茶の時間にいろいろと話すことができた。別れが近づいて来たことにふいに気づき、寂しくなった。残りの時間を精いっぱい楽しみ、最後まで積極的に行動していきたい。

※ 後半では、ホームステイの様子や別れの様子をお伝えします。お楽しみに！

